

# 厳密被覆問題を表す ZDD に対する前処理

1220305 榎 新星 【アルゴリズム研究室】

## 1 はじめに

数独やスケジューリング問題などは厳密被覆問題として定式化して解ける。厳密被覆問題を効率よく解く方法として Knuth が提案した DLX があるが、現実の問題は入力サイズが膨大になり、入力サイズがネックとなって DLX でも解くことができないものがある。そこで、Nishino らは入力を簡潔なデータ構造である ZDD で表現し、ZDD に新たなリンクを張って問題を解く手法 D3X を提案した [1]。本稿では、この入力の ZDD サイズを小さくする手法を提案し、その有効性を確かめる。

## 2 厳密被覆問題

厳密被覆問題とはアイテムの集合  $U$  と  $U$  の冪集合の部分集合を要素とするオプションの集合  $S$  に対して、 $S$  の部分集合で  $\forall s_1, s_2 \in S' (s_1 \cap s_2 = \emptyset) \wedge (\bigcup_{s \in S'} S = U)$  を満たす  $S'$  を求める問題である。例えば、

$$\begin{aligned}
 U &= \{a, b, c, d, e, f, g\}, \\
 S &= \{\{b, e\}, \{a, c, d\}, \{b, d, e, f\}, \{a, c\}, \\
 &\quad \{a, g\}, \{f, g\}, \{e, g\}\}
 \end{aligned}
 \tag{1}$$

に対しては、 $S' = \{\{b, e\}, \{a, c, d\}, \{f, g\}\}$  が解となる。

Zero-suppressed Binary Decision Diagram (ZDD) は組合せ集合を簡潔に表現できるデータ構造である。図 1 の ZDD は (1) の  $S$  を表す ZDD である。

## 3 提案手法

あるアイテム  $i$  を含むオプション全てが、別のアイテム  $j$  を必ず含むとき、 $j$  は不要なアイテムであり、 $i$  を含まずに  $j$  を含むオプションも不要である。(1) ではアイテム  $c$  を含むオプションはアイテム  $a$  を含んでいるためアイテム  $a$  とオプション  $\{a, g\}$  が不要である。この処理を行うアルゴリズムを Algorithm1 に示す。3 行目はアイテム  $i$  を含まない組合せを表現する ZDD を返す演算

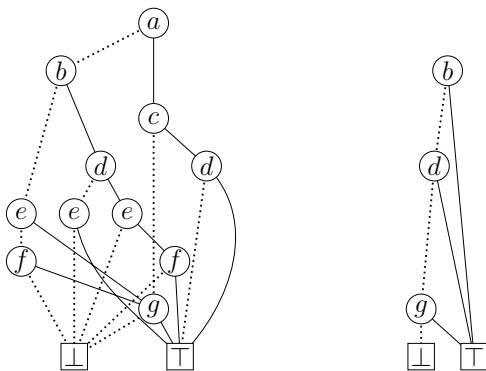


図 1 ZDD

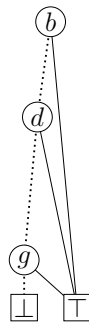


図 2 前処理後 ZDD

**Input** : ZDD  $z$

**Output**: Preprocessed ZDD  $z$

```

1 while There is item to be deleted do
2   for  $i \in U(\text{item set})$  do
3      $z_1 \leftarrow z.\text{Offset}(i)$ ;
4     for  $(j \in U) \wedge (j \neq i)$  do
5       if  $z_1.\text{OnSet}(j) = \perp$  then
6         remove item  $i$  and update  $z$ ;
7         break;
8 return  $z$ ;
    
```

Algorithm 1: ZDD に対する前処理

表 1 前処理の時間と D3X の実行時間

インスタンス	前処理	前処理有	前処理無
burma14	5ms	2,852ms	2,844ms
grafo8373.100	434ms	0ms	483,778ms
grafo8224.100	22ms	<b>124,714ms</b>	199,406ms
Ion	11ms	0ms	1ms

である Offset を使い、アイテム  $i$  を含まない組合せ集合を表現する  $z_1$  を作成する。5 行目はアイテム  $j$  を含む組合せ集合を表現する ZDD を返す演算 OnSet を使い、アイテム  $i$  を含まず  $j$  を含む組合せ集合が空集合かを判定する。そのような組合せが無い場合は、 $i$  に関する不要なアイテムやオプションを削除する。Algorithm1 を図 2 の ZDD に適用するとアイテムが  $\{b, d, g\}$  のみでオプションが  $\{\{b\}, \{d\}, \{g\}\}$  である図 2 の ZDD になる。

## 4 計算機実験

提案手法の前処理を適用して得られた ZDD と元の ZDD に対して D3X を適用した際の実行時間を表 1 に示す。表 1 の 0ms は前処理の段階で解が無いことがわかったことを表す。表 1 から、前処理を行うことで一部の D3X の実行時間が大幅に減少することがわかる。

## 5 まとめ

本稿では厳密被覆問題を表現する ZDD をより小さくする前処理技法を提案し、その有効性を確かめた。

## 参考文献

- [1] M. Nishino, N. Yasuda, and K. Nakamura, "Compressing Exact Cover Problems with Zero-suppressed Binary Decision Diagrams", IJCAI-21, Aug. 2021, pp. 1996–2004